

【芸術地域デザイン学部】

平成28年度 特別入試（AO入試）

（大学入試センター試験を課さない）

学科・課程等名	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野 有田セラミック分野
募集人員	6人
出願要件	芸術表現コースでの勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年4月以降にこれに該当する者及び平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者
適性検査	美術・工芸分野 模擬授業を受けてのドローイングなどの制作及びプレゼンテーション 有田セラミック分野 模擬授業を受けての粘土を用いた制作及びプレゼンテーション
評価基準等	<ul style="list-style-type: none">● 模擬授業における採点・評価基準 教科・科目から判断される基礎学力とは異なる主体性や分析力、行動力及び考察力を重視した多面的・総合的な採点、評価を行います。● プレゼンテーションの採点・評価基準 発想力、企画力、表現力を持ち、積極的に行動し、意欲的かつ継続的な芸術の研究や自主的な芸術活動を目指しているかを採点・評価基準とします。● 調査書、志願理由書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、志願理由書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4で5ページのファイルにまとめて提出してください。● 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。
出願期間	平成27年11月20日(金)から平成27年11月26日(木)まで
入試期日	平成27年12月11日(金)
合格者発表日	平成27年12月17日(木)
その他	(1) 入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）により、第1次選考を行う場合があります。 (2) 2年次から受験時に選択した分野に所属します。 (3) 平成28年度入試においては、推薦入試とAO入試は同時期に行われるため、併願はできません。

【芸術地域デザイン学部】

平成28年度 特別入試（AO入試）

（大学入試センター試験を課さない）

学科・課程等名	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
募集人員	15人
出願要件	地域デザインコースでの勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込の者 (3) 学校教育法施行規則150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者
適性検査	①小論文の内容についてのプレゼンテーション資料の作成 地域デザインに関わる資料（新聞記事、図表、統計資料、論説等）を分析・考察した小論文およびその説明のためのプレゼンテーション資料（B3用紙）を作成。 ②グループディスカッション（個別発表とグループ討論、試問） 小論文の内容について、各自が作成したプレゼンテーション資料を用いた発表（ひとり3分以内）。各自の個別発表を踏まえたグループ討論、試問。
評価基準等	●小論文とその内容についてのプレゼンテーション資料の採点基準 読解力、論理的思考力、分析力、考察力、企画力、発想力、表現力等を総合的に評価します。 ●グループディスカッション（個別発表とグループ討論、試問）の採点・評価基準 個別発表、グループ討論及び試問を通じて、コミュニケーション能力、協調性、リーダーシップ、主体性、積極性、論理性、修学意欲等を総合的に評価します。 ●調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。 ●特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） 本コースのアドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動実績を評価します。 ●合否判定基準 書類（調査書、志願理由書、特色加点申請書〈申請者のみ〉）、小論文、プレゼンテーション資料、グループディスカッションの各成績評価を総合して、合格者を決定します。
出願期間	平成27年11月20日(金)から平成27年11月26日(木)まで
入試期日	平成27年12月11日(金)
合格者発表日	平成27年12月17日(木)
その他	(1) 入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合には、書類（調査書、志願理由書、特色加点申請書〈申請者のみ〉）により、第1次選考を行う場合があります。 (2) 平成28年度入試においては、推薦入試とAO入試は同時期に行われるため、併願はできません。

■AO入試の配点等および特色加点制度

学部, 学科・課程等名			区分	書類審査 (調査書, 志願理由書等)	小論文	面接	適性検査	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)	特色加点
教 育 学 部 (改組予定※)	学 校 教 育 課 程	小 中 連 携 教 育 コ ー ス	初等教育主免専攻	100	100	150 (注1)	200 (注2)	/	550	/
			中等教育主免専攻							
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部 (設置予定※)	芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 科		芸術表現コース	400	/	/	600 (注3)	/	1000	/
			地域デザインコース	2段階評価 合, 否	300	/	700 (注4)	/	1000	100

(注1) 面接は口頭試問を含みます。

(注2) 活動実績報告書の評価を含みます。

(注3) 模擬授業での評価を200点, プレゼンテーションの評価を400点とします。

(注4) プレゼンテーション資料作成を300点, グループディスカッションを400点とします。

特色加点制度について

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高校までの主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。書類審査, 小論文, プレゼンテーション資料作成, グループディスカッションなどの合計点(以下, 「当初配点」という。)とは別に, 志願者のこれまでの主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点します。実績・活動の規模や志望分野との関係性, 取り組み状況及び根拠資料の内容等を評価観点とします。志願者の申請を原則とし, 申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。これまでに志願者が取り組んできた様々な実績や活動等が申請対象となります。

特色加点のイメージ

評価方法	当初配点	+	特色加点申請書  最大100点まで加点
小論文	300		
プレゼンテーション資料作成	300		
グループディスカッション	400		
合計点	1000		

(これまでの実績や活動の例)

- 地域創生などに関わる主体的な活動
 - 課外活動(部活動や生徒会活動など)における実績や取り組み
 - 研究活動(高大連携活動(SSH, SGH等を含む), 総合的学習等での活動実績)
 - 資格・検定試験など外部試験等の実績
 - 海外留学経験
 - その他主体的な活動
- など

申請方法については, AO入試学生募集要項で発表します。各種問い合わせはAO入試学生募集要項発表後に受け付けます。